

している都市はいくつあるのか、またそのうち国語、数学以外の教科を実施している都市はいくつあるのかお尋ねします。

A 〈教育長〉平成30年度に、独自の学力調査を実施している都市は、20都市中16市。そのうち、国語、数学以外の教科を実施している都市は、14市です。

Q 〈平畑〉学校は、学習定着度調査の結果をどのように分析し、活用しているのかお尋ねします。

A 〈教育長〉学級や学年の学力の状況を前年度と比較し、学校全体の成果と課題を全教員で共有することで、学力向上のための取組の改善に努めています。

中学校では調査の結果をもとに教育委員会が作成した福岡市全体における自分の相対的な位置が分かる個別シートを活用し進路指導に役立てています。

Q 〈平畑〉生徒に個別シートを渡しても、国語と数学の結果しか分かりません。国語と数学以外の学力の状況が、分からないことについてはどう考えているのか、さらに教育委員会として市全体における学校全体の位置や教科ごとの結果について、公表はしていないのか。

A 〈教育長〉生徒が自分の学力を把握することについては国語と数学の結果をもとにすることでおよその自分の学力の状況は把握できると認識しています。

公表のあり方については、教育委員会が福岡市全体の調査結果と今後の取組を公表しあわせて、全ての小中学

校が自校の課題や具体的な取組を公表して、保護者や地域と情報を共有するとともに、児童生徒一人一人への具体的な指導を行っています。

Q 〈平畑〉理科や社会、英語の先生は自分の指導方法をどのように確認しているのか不思議で仕方ありません。指導力を客観的に評価できていないのではないかと思います。他の政令市が実施しているように国語と数学以外の教科においても中学校の学習定着度調査を実施すべきだと考えるが、教育長の所見をお尋ねします。

A 〈教育長〉学習定着度調査は、各学校が子どもたちの実態を把握し、学力向上の取組を充実させることを目的として行っています。国語と数学以外の教科については、各学校が、定期考査の結果などをもとに、学習指導や進路指導を行っているところでありますが、教育委員会としても今後さらに施策の改善や進路指導の充実につなげることができるよう、教科の数などの実施方法のあり方について検討していきます。

市民体育館(県庁前)のあり方について

Q 〈平畑〉総合体育館(アイランドシティ)が開館した平成30年12月の第1委員会において、市民局から「市民体育館の老朽化の状況等を踏まえ、そのあり方を検討していく」との説明がありました。市民体育館は昭和47年の開館以来、福岡市の拠点体育館の役割を担い、長年、福岡市民に親しまれて来た施設です。

2019

2/8

福岡県海洋スポーツ協会贈呈式



福岡県海洋スポーツ協会から福岡市科学館内の「海洋児童文庫」図書購入と博多湾へのメバルの稚魚放流の目録贈呈式に出席。

福岡県海洋スポーツ協会定時総会



福岡県海洋スポーツ協会の定時総会にて挨拶。

2019

4/28

福岡中失難聴者支援福祉協会・定期総会



人生の途中で耳が不自由となり、コミュニケーションをとることに苦労されているにもかかわらず、聴覚障がいのある方々のために積極的な活動をされています。

2019

5/3

博多どんたく港まつり



素晴らしい天気のもと、福岡市議会どんたく隊としてパレードに参加。